

三重大学大学院 医学系研究科・医学部

三重大学医学部附属病院

概要 2021

OUTLINE 2021

Mie University Graduate School of Medicine/
Faculty of Medicine and Mie University Hospital Outline



三重大学医学部



確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、豊かな創造力と研究能力を養い、人類の健康と福祉の向上につとめ、地域および国際社会に貢献する。

三重大学医学部附属病院



本院は、信頼と安心が得られる地域医療の拠点として、未来を拓く診療・研究を推進し、人間性豊かな優れた医療人を育成する。



- 地域の拠点病院として、安全で質の高い先進的な医療を提供します。
- 臨床研修機関として、次代の担い手となる人間性豊かな人材を育成します。
- 新しい医療を目指す臨床研究を推進し、社会に貢献します。
- 医療・育育機関との連携・支援を推進し、地域医療の発展に尽くします。
- 疾病の予防を目指した教育・研究を推進します。
- 上記の基本方針を推進するために、健全で成長性のある病院経営を行います。



医学教育分野別評価適合認定証



公益財団法人日本医療機能評価機構認定証



がんゲノム医療拠点病院指定書



小児がん拠点病院指定書



特定行為研修指定研修機関指定証

Contents

- 01 基本理念
- 02 ご挨拶
- 04 沿革
- 06 組織図
- 職員・学生について
- 08 ■ 役職員
 - ・大学院医学系研究科・医学部
 - ・医学部附属病院
- 11 ■ 職員現員
- 11 ■ 歴代研究科長等
- 12 ■ 学生
 - ・医学部
 - ・大学院医学系研究科
- 大学院医学系研究科・医学部について
- 14 ■ 図書及び雑誌
- 14 ■ 国際交流
- 15 ■ 解剖体数
- 15 ■ 科学研究費助成事業採択状況
- 15 ■ 外部資金受入状況
- 医学部附属病院について
- 16 ■ 病院各階案内図
- 17 ■ 附属病院の業務状況
- 19 ■ 医療行為統計
- 21 ■ 医療機関等の指定状況等
- 26 敷地及び建物面積
- 27 建物配置図
- 28 所在地・アクセス

三重大学大学院医学系研究科・医学部 医学系研究科長・医学部長 ご挨拶

令和1(2019)年12月末に中国の湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症は瞬く間に全世界に拡がり、日本国内では令和2(2020)年1月15日に国内最初の陽性結果が確認されました。学位記授与式や謝恩会、歓送迎会などの恒例行事は全て中止となり、令和2(2020)年3月末で定年退職された先生方の最終講義などは開催されませんでした。新年度となった直後の4月7日には最初の緊急事態宣言が発出され、外出自粛を要請されるなど、我々の日常生活は激変しました。大学においては対面講義から遠隔講義へ切り替えられ、病院実習や課外活動・サークル活動は中止となりました。入学式は中止、新入生は登校禁止となり、同級生を知らないまま、時が過ぎていきました。4月以降着任された先生方の、就任祝賀会なども開催されておりません。

令和2(2020)年は医学部から6つの素晴らしい研究がメディアに発表されました。潰瘍性大腸炎癌化リスク診断法の開発、家族性アルツハイマー病を対象とした治験開始、人工知能による胸部レントゲン写真の新たな評価法、慢性腎不全抑制物質の発見、魚類に由来するmRNAを水から検出することに成功、それから新型コロナウイルスワクチン国際開発開始のお知らせでした。最後の研究は、「次世代型ワクチン」として今開発に注目が集まっており、一刻も早い実用化が望まれるところであります。また、令和3(2021)年には現時点まで、しょうがに含まれる破骨細胞の形成を抑制する成分10-ジングロールの発見、細胞表面にある一次シリアを介した脂肪細胞分化の新たな制御機構の発見が発表されています。今後も三重大学医学部から様々な新しい研究が花開くことを願っています。教育面では令和1(2019)年度に日本医学教育評価機構による医学教

育分野別評価を受審した結果、各分野の皆様方の協力により、令和3(2021)年1月18日に「適合」と認定されました。すなわち、三重大学医学部では世界医学教育連盟の国際基準に合致した教育ができていると評価されたこととなります。非常に嬉しく、とてもすばらしいことだと思っております。認定期間は、令和3(2021)年2月1日～令和10(2028)年1月31日までとなり、この間、医学教育の分野別の質の保証が担保されることとなります。今後も引き続き医学教育のさらなる充実・向上を図っていきたくと考えております。

昨年と異なり、3月末には学位記授与式を、4月には入学式を挙行致しました。ハイブリッドを含む対面授業を行い、課外活動は条件付きで行うことを許可しています。8月時点で全国の新型コロナウイルス感染者数は最多を更新する県が続出するなど第5波が猛威を振るっています。三重県では1日の新規感染者数が500人を超え、8月27日からは再び緊急事態宣言が発出されました。また、オリンピックは開催されましたが、三重県で開催予定であったとこわか国体は中止が決定致しました。ワクチンの接種が進み、今までの日常に早く戻るよう祈るばかりです。今年度も全集中して三重大学大学院医学系研究科・医学部が更なる発展を遂げるように邁進致します。

医学系研究科長・医学部長
須藤 啓広



三重大学医学部附属病院 病院長 ご挨拶

令和2年1月から始まった世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大は、私たちの社会を一変させました。医療界への影響は計り知れないものがあり、本院もその例外ではありません。また、本院独自の重大な懸案として、同時期に発覚した臨床麻酔部事件では、皆様に大変ご迷惑とご心配をおかけいたしました。

この2つのことは、医療に携わる者として最も大切なことである「医療人としての使命」を再認識する機会でもありました。ここにご挨拶を兼ね、本院の状況をお知らせするとともに、信頼回復に向けた取り組みと決意、さらに新型コロナウイルス感染症への対応について述べさせていただきます。

〈本院の現状〉

本院の歴史は、明治9年に三重県医学学校兼治療所が安濃郡塔世村(現在の津市栄町)に設置されたことに端を発します。その後約100年、様々な歴史を経て、昭和48年の国立移管により三重大学医学部附属病院となり、平成24年1月には屋上ヘリポートを備えた新病院が開院いたしました。

本院は三重県唯一の特定機能病院であり、三重県の医療における「最後の砦」として県民、市民のみならずの期待に応えられる医療の提供に努めています。本院の救命救急センターは、三次救急(重症・重篤患者に対する救急医療)を担い、厚生労働省の「救命救急センター充実段階評価」では、平成31年～令和元年度、および令和2年度と連続して最も高い「S」評価を受けています。

また、本院はがん診療連携拠点病院、小児がん拠点病院、がんゲノム医療拠点病院というがん医療に関わる主要な指定を同時に受ける全国でも数少ない医療機関です。国立のがんセンターがない三重県において、三重大学医学部附属病院がんセンターを開院し、県下の病院とのネットワーク構築などを通じ、地域のがん医療の体制整備を推進しています。その他、幅広い医療ニーズに対応するため診療科やセンターを増設し、高度かつ全人的な医療の提供を目指しております。

教育・研究の推進も大学附属病院の使命です。県内の基幹病院をはじめとする多くの医療機関にこれまで545名(平成31年1月1日現在)の医師派遣を行うなど、人材育成や医師不足地域での医療の確保をはじめとした地域医療の充実に貢献するべく尽力してきました。〈臨床麻酔部事件に係る再発防止策〉

臨床麻酔部事件につきましては、様々な面からの検証に基づき再発防止策を策定し、すでに導入を完了しております。内部体制の見直し、麻酔記録・手術室情報システムの改善、内部通報窓口の増設、コンプライアンス意識醸成に向けた研修の導入、奨学寄附金受入れ時の誓約書提出義務化、保険診療・診療報酬に対する教育の徹底などを通じ、不正やミスの発生リスクを可能な限り排除していきます。

また、臨床麻酔部の体制についても徐々に立て直しが進んでおり、引き続き安全を第一とした診療を進めてまいります。

〈新型コロナウイルス感染症への取り組み〉

本院は、昨年4～5月の緊急事態宣言時(第1波)から、県内の重症感染者の治療に対応するため、救命救急・総合集中治療センターにあるHCU(高度治療室)の一部を人工呼吸器管理が必要な重症患者用とし、さらに重症患者の回復期ケアのために一般病棟に新型コロナ専用病棟を確保しました。その後、第4波となる本年4～5月には、重症用並びに軽症～中等症用のベッドを増床するとともに、手術制限を行い医師、看護師、メディカルスタッフからなる専門対策チームを立ち上げて対処しました。

第5波(本年8～9月)では、感染者急増により三重県の医療体制が想像を絶する事態となり、当院も9月1日から、新規入院患者の受け入れを停止するなど、第4波以上の体制をいち早く整えました。一般病棟や外来に絶対に感染を持ち込まないよう対策を取りながら、全国的に見てもかなり危機的状況にあった三重県の感染者医療を支えるべく病院をあげて対応を行いました。

なお、文部科学省の施設整備費補助金を用いて、新型コロナウイルス感染症など感染症患者を院外で診療しトリアージができる施設の建設を進めており、「感染症危機管理センター」として本年11月末から運用する予定です。

〈本院が目指す組織像〉

臨床麻酔部事件、新型コロナウイルス感染症への対応の経験から、私は病院長として、本院が目指す組織像を図のように描いています。

〈三重大学医学部附属病院が目指す組織像〉



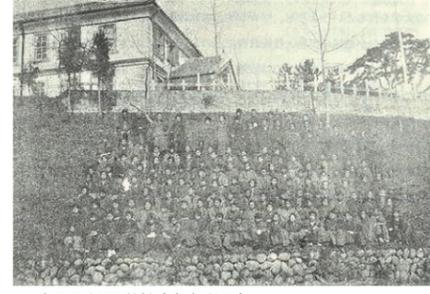
医療人の使命「悩める患者さんを前にして、自分たちに何が出来るかを問う」を中心軸に、本院が目指す「倫理・安全文化の醸成、救命救急・先端医療の推進、地域医療への貢献」を共有し、これを囲むように病院執行部、科長会メンバー、全職員がフラットな集合体となり、「開かれた・活力ある・学習する組織」を形成するというものです。こうした組織を通じて、三重県の医療における本院の重要な役割を全うするべく進んでまいりたいと思います。

病院長 伊佐地 秀司



沿革 History

- 1876 ◆ 5月
明治9年 三重県医学校が安濃郡塔世村(現在の津市栄町) 三重県公立病院内に設立される
- 1883 ◆ 9月
明治13年 文部省より甲種医学校(全国で13校)として認可される
- 1889 ◆ 9月
明治22年 三重県公立病院の施設を私立今井病院に貸与
- 1910 ◆ 4月1日
明治43年 私立今井病院の貸与期間満了につき 三重県から移管され津市立病院となる
- 1943 ◆ 12月10日
昭和18年 三重県立医学専門学校設立 / 津市立病院が移管され同附属病院となる
- 1944 ◆ 4月
昭和19年 三重県立医学専門学校開校
- 1947 ◆ 6月18日
昭和22年 三重県立医科大学設置
- 1948 ◆ 4月1日
昭和23年 三重県立医科大学附属医院厚生女学部(甲種看護婦養成所)開校
- 1950 ◆ 3月14日
昭和25年 三重県立大学設置
- 1952 ◆ 2月20日
昭和27年 三重県立大学医学部設置
- 1959 ◆ 3月20日
昭和34年 三重県立大学 大学院医学研究科設置
- 1972 ◆ 5月1日
昭和47年 三重大学医学部設置 三重県立大学医学部を国立移管



三重県甲種医学校(津市栄町)



※戦時中:黒塗り
医学専門学校附属病院本館(現・県立美術館周辺)



三重県立大学 大谷町校舎



医学基礎校舎(津市栄町安濃川(塔世橋)周辺)

- 1973 ◆ 10月1日
昭和48年 三重大学医学部附属病院設置 三重県立大学医学部附属病院を国立移管
- 1975 ◆ 4月1日
昭和50年 三重大学大学院医学研究科(博士課程)設置
- 1991 ◆ 3月31日
平成3年 三重大学医学部附属看護学校廃止
- 1997 ◆ 10月1日
平成9年 医学部に看護学科を設置
- 2001 ◆ 4月1日
平成13年 大学院医学研究科に医科学専攻(修士課程)を設置
- 2002 ◆ 3月20日
平成14年 附属病院に卒後臨床研修部を設置
- 2003 ◆ 4月1日
平成15年 大学院医学系研究科を改組し「生命医科学専攻」を設置
- 2006 ◆ 6月28日
平成18年 附属病院にがんセンターを設置
- 2012 ◆ 2月1日
平成24年 三重県ドクターヘリの運航を開始
- 2013 ◆ 9月1日
平成25年 小児トータルケアセンターを設置
- 2015 ◆ 2月1日
平成27年 専門医研修支援センターを設置
- ◆ 5月7日
新外来・診療棟開院
- 2016 ◆ 4月1日
平成28年 看護学専攻(博士前期課程)と 看護学専攻(博士後期課程)を設置



旧 医学部附属病院(津市江戸橋)



医学部看護学科校舎





三重大学
大学院
医学系研究科

- 博士課程
- 博士前期課程・後期課程
- 修士課程

- 生命医科学専攻
- 看護学専攻
- 医科学専攻

- ◆ 基盤看護学領域
看護教育学/看護管理学/
実践基礎看護学
- ◆ 実践看護学領域
がん看護学/成人看護学
母性看護・助産学
小児看護学/老年看護学
- ◆ 広域看護学領域
精神看護学/地域看護学
- ◆ 看護学領域
看護教育学/実践基礎看護学
成熟期看護学/母子看護学
精神・ストレス健康科学/地域看護学

- ◆ 基礎医学系講座
組織学・細胞生物学 分子生理学 分子病態学 環境分子医学 免疫制御学
発生再生医学 修復再生生理学 感染症制御医学・分子遺伝学 公衆衛生・産業医学 動物機能ゲノミクス
生化学 腫瘍病理学 免疫学 法医学科学 遺伝子病態制御学
幹細胞発生学 統合薬理学 医動物・感染医学 医学医療教育学 細胞生物学・再生医療学

- ◆ 臨床医学系講座
循環器・腎臓内科学 家庭医療学 胸部心臓血管外科学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 臨床薬剤学
血液・腫瘍内科学 精神神経科学 乳腺外科学 口腔・顎顔面外科学 病態解析内科学
消化器内科学 小児科学 産科婦人科学 形成外科学 新生児学
呼吸器内科学 皮膚科学 脳神経外科学 麻酔集中治療学 成育医学
代謝内分泌内科学 放射線医学 運動器外科学・腫瘍集学治療学 臨床麻酔科学 健康増進・予防医療学
神経病態内科学 肝胆膵・移植外科学 腎泌尿器外科学 救急災害医学 臨床がんゲノム学
リウマチ膠原病内科学 消化管・小児外科学 眼科学 リハビリテーション医学 臨床形態異常学

- ◆ 産学官連携講座
臨床創薬研究学講座 システムズ薬理学講座 個別化がん免疫治療学講座
- ◆ 寄附講座
認知症医療学講座 先進医療外科学講座 スポーツ整形外科学講座 先進画像診断学講座 先進がん治療学講座
- ◆ 多様な新ニーズに対応する
「がん専門医療人材(がんプロフェSSIONAL)」養成プラン
周産期新生児発達医学講座 地域支援神経放射線診断学講座 先進血液腫瘍学講座 脊椎先端治療学講座 放射線腫瘍学講座

医学部

- 医学科
- 看護学科
- 附属施設
医学・看護学教育センター

- ◆ 寄附講座
亀山地域医療学講座 三重県総合診療地域医療学講座 名張地域医療学講座
脊髄末梢神経低侵襲外科学講座 神経・筋病態学講座 脊椎集学治療学講座
循環器・救命救急地域連携学講座 地域血液内科講座 地域連携血管内治療学講座
神経画像病態学講座

医学部
附属病院

- 診療部門
- 中央部門
- 支援部門
- 薬剤部
- 看護部

- ◆ 医療情報管理部
- ◆ 臨床研修・キャリア支援部
- ◆ 医療安全管理部
- ◆ 感染制御部
- ◆ 臨床研究開発センター
- ◆ がんセンター
- ◆ Aiセンター
- ◆ 広報センター
- ◆ CCUネットワーク支援センター
- ◆ 疫学センター
- ◆ 災害対策推進・教育センター
- ◆ 災害医療センター
- ◆ 国際医療支援センター
- ◆ 総合サポートセンター
- ◆ チーム医療推進センター
- ◆ バイオバンクセンター

- ◆ 総合診療科
- ◆ 内科
- ◆ 外科
- ◆ 小児科
- ◆ 放射線科
- ◆ 総合診療部
- ◆ ゲノム医療部
- ◆ 救命救急・総合集中治療センター
- ◆ 周産母子センター
- ◆ 乳腺センター
- ◆ 血管ハートセンター
- ◆ 高度生殖医療センター
- ◆ リウマチ・膠原病センター

医学・病院
管理部

- ◆ 中央検査部
- ◆ 中央手術部
- ◆ 臨床麻酔部
- ◆ 中央放射線部
- ◆ 中央材料部
- ◆ 輸血・細胞治療部
- ◆ 集中治療部
- ◆ 病理部
- ◆ 光学医療診療部
- ◆ 血液浄化療法部
- ◆ リハビリテーション部
- ◆ 栄養診療部
- ◆ 臨床工学部
- ◆ 外来化学療法部
- ◆ 肝炎相談支援センター
- ◆ 臓器移植センター
- ◆ 口腔ケアセンター
- ◆ 小児・AYAがん
- ◆ トータルケアセンター
- ◆ 認知症センター
- ◆ 緩和ケアセンター
- ◆ 痛みセンター

- 総務課
総務係/秘書広報係
企画評価係/人事係/職員係
病院研修室
- 経営管理課
総括・管理係/医療消耗品係
病院経営企画係/予算第一係
予算第二係/施設係
研究支援室
- 学務課
学務第一係/学務第二係
図書係
- 医事課
医事係/医療安全対策係
診療管理係/医療情報管理係
診療支援係/診療案内係
医療福祉係/収入係

(令和3年5月1日現在)

職員・学生について

役職員 Faculty and Administrative Office

(令和3年10月1日現在)

大学院医学系研究科・医学部

医学系研究科長	湊藤 啓広	医学部長	湊藤 啓広
教育研究評議会評議員	富本 秀和	看護学専攻長	林 智子
副研究科長	島岡 要	看護学科長	林 智子
副研究科長	野阪 哲哉		

大学院医学系研究科

基礎医学系講座

組織学・細胞生物学	教授	後藤 英仁	免疫学	教授	ガバザ・エステバン
発生再生医学	教授	成田 正明	医動物・感染医学	教授	油田 正夫
生化学	教授	竹本 研	環境分子医学	教授	村田 真理子
幹細胞発生学	教授	山崎 英俊	公衆衛生・産業医学	教授	笠島 茂
分子生理学	教授	稲垣 昌樹	法医法科学	教授	小谷 泰一
修復再生病理学	教授	今中 恭子	医学医療教育学	教授	堀 浩樹
腫瘍病理学	教授	渡邊 昌俊	免疫制御学	連携教授	保富 康宏
統合薬理学	教授	西村 有平	動物機能ゲノミクス	准教授	(鈴木 昇)
分子病態学	教授	島岡 要	遺伝子病態制御学		
感染症制御医学・分子遺伝学	教授	野阪 哲哉	細胞生物学・再生医療学	連携教授	梅澤 明弘

臨床医学系講座

循環器・腎臓内科学	教授	土肥 薫	腎泌尿器外科学	教授	井上 貴博
血液・腫瘍内科学	教授	俵 功	眼科学	教授	近藤 峰生
消化器内科学	教授	中川 勇人	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	教授	竹内 万彦
呼吸器内科学	教授	小林 哲	口腔・顎顔面外科学	教授	新井 直也
代謝内分泌内科学	教授	小林 哲	形成外科学	教授	成島 三長
神経病態内科学	教授	富本 秀和	麻酔集中治療学	教授	丸山 一男
リウマチ膠原病内科学	教授	中島 亜矢子	臨床麻酔科学		
家庭医療学	教授	(湊藤 啓広)	救急災害医学	教授	今井 寛
精神神経科学	教授	岡田 元宏	リハビリテーション医学	教授	百崎 良
小児科学	教授	平山 雅浩	臨床薬理学	教授	岩本 卓也
皮膚科学	教授	山中 恵一	臨床検査医学	教授	田辺 正樹
放射線医学	教授	佐久間 肇	病態解析内科学	連携教授	白木 克哉
肝胆膵・移植外科学	教授	水野 修吾	〃	連携教授	和田 英夫
消化管・小児外科学	教授	問山 裕二	新生児学	連携教授	田中 滋己
胸部心臓血管外科学	教授	高尾 仁二	成育医学	連携教授	谷口 清州
乳腺外科学	教授	小川 朋子	健康増進・予防医療学	教授	小林 由直
産科婦人科学	教授	池田 智明	〃	教授	谷井 久志
脳神経外科学	教授	鈴木 秀謙	臨床がんゲノム学	連携教授	宮城 洋平
運動器外科学・腫瘍集学治療学	教授	湊藤 啓広	臨床形態異常学	連携教授	黒澤 健司

産学官連携講座

臨床創薬研究学講座	教授	(近藤 峰生)
システムズ薬理学講座	教授	(丸山 一男)
個別化がん免疫治療学講座	教授	渡辺 隆
〃	教授	溝口 明

寄附講座

認知症医療学講座	准教授	(新堂 晃大)
先進医療外科学講座	准教授	大井 正貴
先進がん治療学講座	教授	野本 由人
スポーツ整形外科学講座	教授	(湊藤 啓広)
亀山地域医療学講座	教授	(山本 憲彦)
〃	教授	若林 英樹
名張地域医療学講座	教授	(山本 憲彦)
三重県総合診療地域医療学講座	教授	(山本 憲彦)
循環器・救命救急地域連携学講座	教授	(土肥 薫)
〃	教授	(今井 寛)
先進画像診断学講座	教授	北川 覚也

看護学科専攻

基盤看護学	教授	林 智子
〃	教授	今井 奈妙
〃	教授	榎屋 正浩
実践看護学	教授	辻川 真弓
〃	教授	竹内 佐智恵
〃	教授	安積 陽子

個別化がん免疫治療学講座	(特任教員・特任教授)	谷 一寿
〃	(特任教員・特任教授)	藤原 弘
〃	(特任教員・特任教授)	宮原 慶裕

周産期新生児発達医学講座	教授	松田 直
神経・筋病態学講座	教授	佐々木 良元
脊髄末梢神経低侵襲外科学講座	教授	水野 正喜
脊椎集学治療学講座	教授	(湊藤 啓広)
地域血液内科講座	教授	(俵 功)
地域支援神経放射線診断学講座	教授	前田 正幸
地域連携血管内治療学講座	教授	加藤 憲幸
神経画像病態学講座	教授	伊井 裕一郎
先進血液腫瘍学講座	教授	山口 素子
脊椎先端治療学講座	教授	(湊藤 啓広)

医学部附属病院

病院長	伊佐地 秀司
副病院長(兼)	平山 雅浩
副病院長(兼)	佐久間 肇
副病院長(兼)	近藤 峰生
副病院長(兼)	鈴木 秀謙

副病院長(兼)	江藤 由美
副病院長(兼)	兼兒 敏浩
副病院長(兼)	高尾 仁二
副病院長(兼)	堀 浩樹

[診療科]

総合診療科長(兼)	山本 憲彦
-----------	-------

[内科]

循環器内科長(兼)	土肥 薫
血液内科長(兼)	俵 功
消化器・肝臓内科長(兼)	中川 勇人
脳神経内科長(兼)	富本 秀和
呼吸器内科長(兼)	小林 哲

腫瘍内科長(兼)	水野 聡朗
腎臓内科長(兼)	村田 智博
糖尿病・内分泌内科長(兼)	矢野 裕
感染症内科長(兼)	鈴木 圭

【 外科 】

外科系診療科 主任診療科長(兼)	高尾 仁二
一般外科長(兼)	水野 修吾
消化管外科長(兼)	問山 裕二
肝胆膵・移植外科長(兼)	水野 修吾
心臓血管外科長(兼)	庄村 遊
呼吸器外科長(兼)	高尾 仁二
乳腺外科長(兼)	小川 朋子
小児外科長(兼)	小池 勇樹
整形外科長(兼)	須藤 啓広
産科婦人科長(兼)	池田 智明
小児科長(兼)	平山 雅浩
精神科神経科長(兼)	岡田 元宏
皮膚科長(兼)	山中 恵一

【 診療部門等 】

総合診療部長(兼)	山本 憲彦
ゲノム医療部長(兼)	奥川 喜永
救命救急・総合集中治療センター長(兼)	今井 寛
周産母子センター長(兼)	池田 智明
乳腺センター長(兼)	小川 朋子
血管ハートセンター長(兼)	土肥 薫
高度生殖医療センター長(兼)	池田 智明
リウマチ・膠原病センター長(兼)	中島 亜矢子
中央検査部長(兼)	田辺 正樹
中央手術部長(兼)	伊佐地 秀司
臨床麻酔部長(兼)	鈴木 秀謙
中央放射線部長(兼)	佐久間 肇
中央材料部長(兼)	池田 智明
輸血・細胞治療部長(兼)	大石 晃嗣
集中治療部長(兼)	丸山 一男
病理部長(兼)	渡邊 昌俊
光学医療診療部長(兼)	中川 勇人
血液浄化療法部長(兼)	片山 鑑
リハビリテーション部長(兼)	百崎 良
栄養診療部長(兼)	兼兒 敏浩
臨床工学部長(兼)	竹内 万彦
外来化学療法部長(兼)	齋藤 佳菜子
肝炎相談支援センター長(兼)	中川 勇人

【 薬剤部 】

薬剤部長	岩本 卓也
------	-------

【 医学・病院管理部 】

管理部長	井澤 克弘
総務課長	伊藤 敦士
総務課副課長	小島 佑介
経営管理課長	伊藤 利宏
経営管理課副課長	山下 城
〃	林 俊夫

腎泌尿器外科長(兼)	井上 貴博
眼科長(兼)	近藤 峰生
耳鼻咽喉・頭頸部外科長(兼)	竹内 万彦
脳神経外科長(兼)	鈴木 秀謙
形成外科長(兼)	成島 三長
放射線科長(兼)	佐久間 肇
病理診断科長(兼)	渡邊 昌俊
ゲノム診療科(兼)	奥川 喜永
麻酔科長(兼)	丸山 一男
緩和ケア科長(兼)	丸山 一男
救急科長(兼)	今井 寛
歯科口腔外科長(兼)	新井 直也
リハビリテーション科長(兼)	百崎 良

臓器移植センター長(兼)	水野 修吾
口腔ケアセンター長(兼)	新井 直也
小児・AYAがんトータルケアセンター長(兼)	岩本 彰太郎
認知症センター長(兼)	富本 秀和
緩和ケアセンター長(兼)	丸山 一男
痛みセンター長(兼)	丸山 一男
医療情報管理部長(兼)	佐久間 肇
臨床研修・キャリア支援部長(兼)	近藤 峰生
医療安全管理部長(兼)	兼兒 敏浩
感染制御部長(兼)	田辺 正樹
臨床研究開発センター長(兼)	田丸 智巳
がんセンター長(兼)	水野 聡朗
Aiセンター長(兼)	兼兒 敏浩
広報センター長(兼)	成島 三長
CCUネットワーク支援センター長(兼)	土肥 薫
疫学センター長(兼)	笠島 茂
災害対策推進・教育センター長(兼)	岸和田 昌之
災害医療センター長(兼)	金子 唯
国際医療支援センター長(兼)	成島 三長
総合サポートセンター長(兼)	江藤 由美
チーム医療推進センター長(兼)	兼兒 敏浩
バイオバンクセンター長(兼)	渡邊 昌俊
消化器病センター長(兼)	水野 修吾

【 看護部 】

看護部長	江藤 由美
------	-------

経営管理課副課長	藤岡 忍
学務課長	長谷川 和也
医事課長	寺前 利治
医事課副課長	世古 浩之
〃	福田 雄一

職員現員 Regular Numbers of Staff

(令和3年5月1日現在)

区分	大学院医学系研究科						医学部		附属病院 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)	
	生命医科学 専攻 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)	看護学 専攻 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)	寄附 講座等 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)	寄附 講座等 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)			
大学 教員	教授	35	(0)	11	(0)	7	(0)	5	(0)	10	(0)
	准教授	20	(0)	9	(1)	1	(0)	1	(0)	19	(0)
	講師	13	(0)	1	(0)	2	(0)	4	(0)	46	(0)
	助教	32	(1)	12	(1)	4	(0)	17	(0)	141	(4)
	計	100	(1)	33	(2)	14	(0)	27	(0)	216	(4)
									174(3)		
医療技術職員										178	(6)
看護職員										642	(32)
その他職員									26(0)	108	(5)
合計									200(3)	1,144	(47)

歴代研究科長等 Chronological Lists Deans and Directors

(令和3年5月1日現在)

鎮西 康雄	平17.4.1～平18.2.9	緒方 正人	平25.4.1～平29.3.31
駒田 美弘	平18.2.10～平22.3.31	片山 直之	平29.4.1～令2.3.31
登 勉	平22.4.1～平25.3.31	須藤 啓広	令2.4.1～

【 医学部長 】

三上 美樹 (事務取扱)	昭47.5.1～昭48.3.31	矢谷 隆一	平6.4.1～平10.2.9
	昭48.4.1～昭49.2.9	珠玖 洋	平10.2.10～平14.2.9
武田 進	昭49.3.10～昭53.3.9	鎮西 康雄	平14.2.10～平18.2.9
井澤 道	昭53.3.10～昭55.2.9	駒田 美弘	平18.2.10～平22.3.31
武田 進	昭55.2.10～昭59.2.9	登 勉	平22.4.1～平25.3.31
横山 實	昭59.2.10～昭61.2.9	緒方 正人	平25.4.1～平29.3.31
伊豆津 公作	昭61.2.10～昭63.2.9	片山 直之	平29.4.1～令2.3.31
杉山 陽一	昭63.2.10～平3.3.31	須藤 啓広	令2.4.1～
水本 龍二	平3.4.1～平6.3.31		

【 附属病院長 】

井澤 道	昭48.10.1～昭52.9.30	坂倉 康夫	平9.4.1～平11.3.31
宮地 一馬	昭52.10.1～昭56.9.30	川村 壽一	平11.4.1～平13.3.31
三吉 康郎	昭56.10.1～昭60.3.31	葛原 茂樹	平13.4.1～平17.3.31
竹澤 英郎	昭60.4.1～昭62.3.31	内田 淳正	平17.4.1～平21.3.31
水本 龍二	昭62.4.1～平元.3.31	竹田 寛	平21.4.1～平25.9.30
草川 實	平元.4.1～平5.3.31	伊藤 正明	平25.10.1～令元.9.30
鈴木 宏志	平5.4.1～平9.3.31	伊佐地 秀司	令元.10.1～

【 附属動物実験施設長 】

塩見 俊朗	昭54.6.16～昭60.3.31	鎮西 康雄	平8.4.1～平12.3.31
坂本 弘	昭60.4.1～平4.3.31	栗林 景容	平12.4.1～平15.3.31
野坂 昭一郎	平4.4.1～平8.3.31		

学生 Students

医学部

[入学定員及び現員]

(令和3年5月1日現在)

学科名	区分	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
医学科	入学定員	125		125		125		125		125		125		750	
	現員	73	52	86	43	77	46	96	37	92	40	70	45	494	263
看護学科	入学定員	80		80		90 (3年次編入10名含む)		90 (3年次編入10名含む)						340	
	現員	2	78	5	77	4	75	4	79					15	309

[卒業生数]

(令和3年5月1日現在)

学科名	昭和51年度～平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31/令和元年度	令和2年度	計
医学科	3,625	103	109	118	126	122	127	119	129	127	4,705

内訳
 ・三重県立医学専門学校 ……277名
 ・三重大学医学部医学科 ……4,705名
 ・三重県立医科大学 ……161名
 ・三重県立大学医学部 ……930名

(令和3年5月1日現在)

学科名	平成13年度～平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31/令和元年度	令和2年度	計
看護学科	971	85	94	87	79	81	79	77	77	82	1,712

内訳
 ・三重大学医療技術短期大学部 ……715名
 ・三重大学医学部看護学科 ……1,712名

大学院 医学系研究科

[入学定員及び現員]

(令和3年5月1日現在)

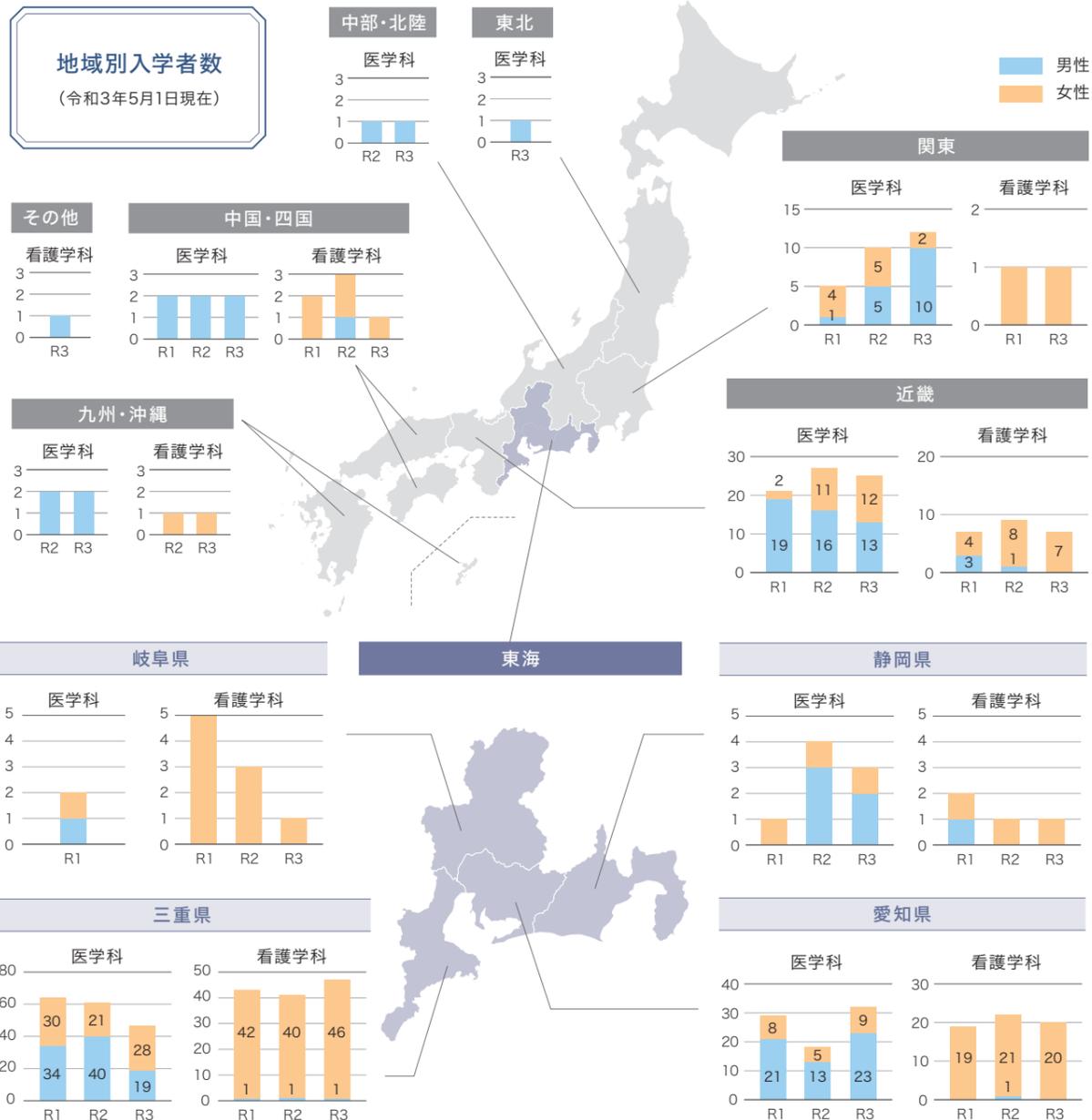
区分		収容定員		現員				合計
		入学定員	総定員	1年	2年	3年	4年	
修士・博士前期課程	医科学	12	24	2	8			10
	看護学	11	22	10(4)	23(11)			33(15)
博士後期課程	看護学	3	9	3	4	12		19
博士課程	生命医科学	45	180	55(44)	48(33)	52(30)	53(43)	208(150)
合計		71	235	70(44)(4)	83(33)(11)	64(30)	53(43)	270(150)(15)

()内は、昼夜開講制による学生を内数で示す/〈 〉内は、社会人特別選抜による学生を内数で示す

[学位(博士(医学))授与数]

(令和3年5月1日現在)

旧制学位	新制学位		合計
	博士課程	論文博士	
三重県立医科大学	333	1,536	1,105
			2,974



大学院医学系研究科・医学部について

図書及び雑誌 Books and Journals

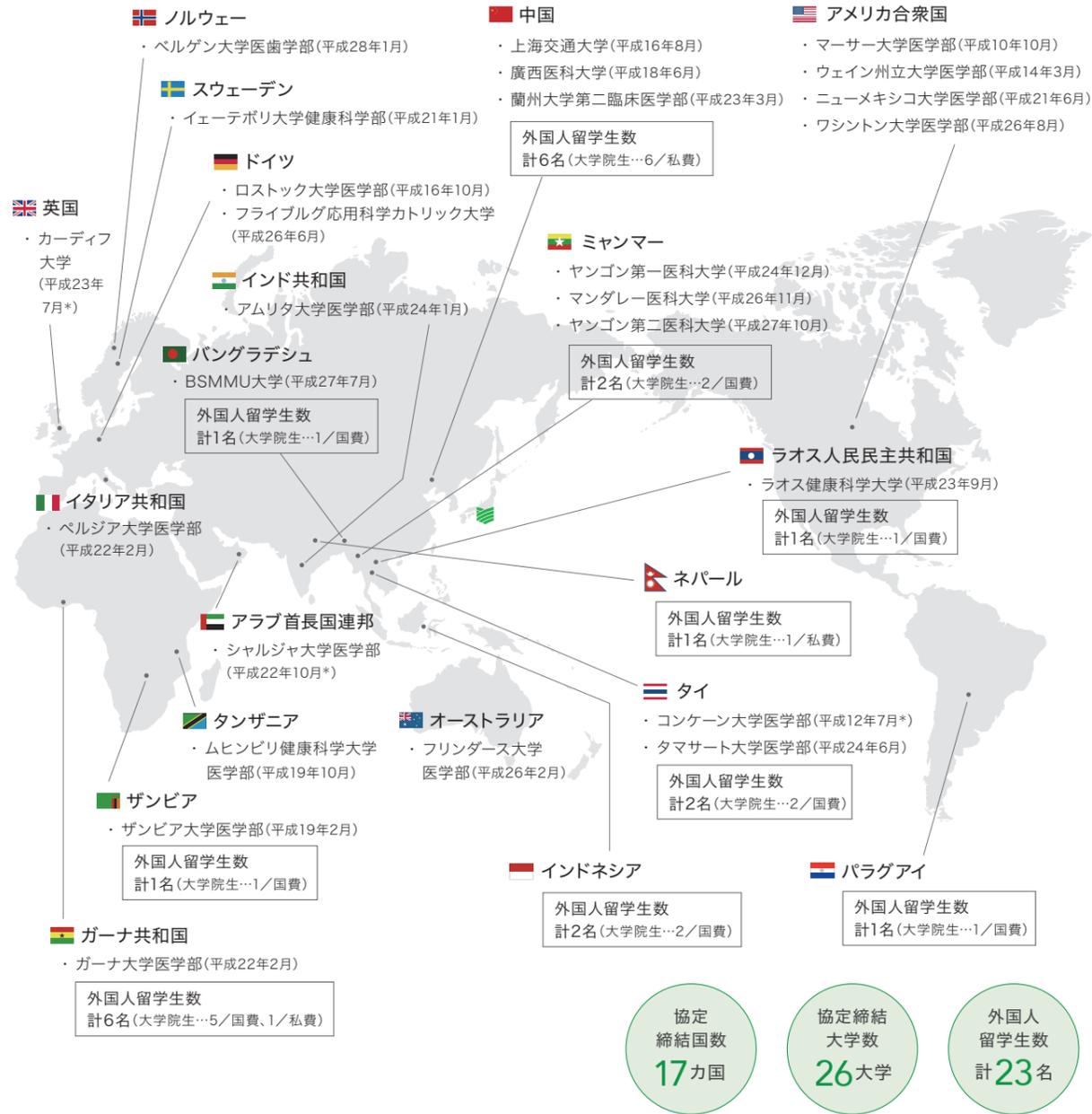
(令和3年3月31日現在)

区分	単行図書(冊)	製本雑誌(冊)	合計(冊)	区分	総種類数(種)	継続購入種類数(種)
和書	23,421	11,562	34,983	国内雑誌	622	95
洋書	2,534	22,400	24,934	外国雑誌	1,114	240
計	25,955	33,962	59,917	計	1,736	335

国際交流 International Exchange

[国際交流協定締結大学等(令和3年3月31日現在)・外国人留学生数(令和3年5月1日現在)]

(日付は協定締結年月日/＊は大学間協定)



解剖体数 Number of Autopsies

[系統解剖]

(令和3年3月31日現在)

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
解剖体数	33	31	31	31	31	31	31	33	33	32	317
収集体数	44	34	49	65	42	47	47	49	39	21	437

[病理解剖]

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
解剖体数	24	20	20	19	16	18	12	23	11	12	175

科学研究費助成事業採択状況 Grants-in-Aid for Scientific Research

(令和2年度実績)

研究種目		件数	金額(千円)	計(件)	計(金額/千円)
特定領域研究	医学部			0	0
	附属病院				
新学術領域研究	医学部			0	0
	附属病院				
基盤研究(A)	医学部			0	0
	附属病院				
基盤研究(B)	医学部	10	38,700	10	38,700
	附属病院				
基盤研究(C)	医学部	68	68,600	105	104,500
	附属病院	37	35,900		
挑戦の萌芽研究	医学部			0	0
	附属病院				
挑戦の研究(萌芽)	医学部	5	11,000	6	12,600
	附属病院	1	1,600		
若手研究(A)	医学部			0	0
	附属病院				
若手研究(若手研究(B)含む)	医学部	17	19,100	59	62,400
	附属病院	42	43,300		
研究活動スタート支援	医学部			0	0
	附属病院				
研究成果公開促進費	医学部			0	0
	附属病院				
特別研究員奨励費	医学部	1	1,000	1	1,000
	附属病院				
奨励研究	医学部			1	380
	附属病院	1	380		
国際共同研究強化(A)	医学部			2	0
	附属病院	2			
国際共同研究強化(B)	医学部	2	6,700	3	10,200
	附属病院	1	3,500		
直接経費のみ 計	医学部	103	145,100	187	229,780
	附属病院	84	84,680		

外部資金受入状況 Origin and Division of Off-campus Funds

(令和2年度実績)

区分		件数	金額(千円)	計(件)	計(金額/千円)
奨学寄附金	医学部	964	634,886	1,052	753,396
	附属病院	88	118,510		
受託研究	医学部	44	345,853	90	389,905
	附属病院	46	44,052		
共同研究	医学部	45	232,689	55	234,158
	附属病院	10	1,469		
受託事業	医学部	6	21,296	12	74,260
	附属病院	6	52,964		
計	医学部	1,059	1,234,724	1,209	1,451,719
	附属病院	150	216,995		

医学部附属病院について

病院各階案内図 Guide to Hospital Floors

[病棟]

(令和3年5月1日現在)

	北棟	南棟	
12階	レストラン・三医会ホール		計
11階	血液内科/眼科/腫瘍内科/皮膚科		97床
10階	循環器内科/腎臓内科	糖尿病・内分泌内科 呼吸器外科 リウマチ・膠原病センター 呼吸器内科 心血管外科 放射線科	98床
9階	消化管外科/消化器・肝臓内科/肝胆膵・移植外科		98床
8階	整形外科/形成外科	放射線科/脳神経外科/脳神経内科	99床
7階	産科婦人科/乳腺外科	周産母子センター	100床
6階	腎泌尿器外科 歯科口腔外科	小児科 心臓血管外科(小児) 小児外科 細胞移植療法部	93床
5階	耳鼻咽喉・頭頸部外科/総合診療科	精神科神経科	76床
3階	中央手術部/臨床麻酔部/中央材料部/輸血部/臨床工学部/病理部/中央検査部		
2階	総合集中治療センター 血液浄化療法部/光学医療診療部/中央放射線部		24床
1階	中央材料部/薬剤部/医療材料渡し口 救命救急センター救急外科/栄養診療部/時間外受付・防災センター	購買/理容室/美容室	合計 685床

[外来・診療棟]

5階	大ホール	臨床研修キャリア支援部 院内学級	がんセンター 患者図書館
4階	皮膚科 歯科口腔外科・口腔ケアセンター	精神科神経科	脳波検査室 肝炎相談支援センター
3階	総合診療科/中央採血室 リウマチ・膠原病センター/循環器内科 神経・筋電図室/消化器・肝臓内科/エコー室 心電図室/緩和ケア科/総合内科/感染症内科	呼吸器内科/呼吸器機能検査室 腎臓内科/運動機能検査室 血液内科 遺伝子カウンセリング室	腫瘍内科/外来化学療法部 糖尿病・内分泌内科 血管ハートセンター/腎泌尿器外科 オーダーメイド医療部
2階	一般外科/小児外科/整形外科/眼科 中央放射線部(X線撮影・透視・CT・MRI) 麻酔科(ペインクリニック・統合医療・鍼灸・漢方・慢性疼痛心理外来)	心臓血管外科/産科婦人科 消化管外科/肝膵胆・移植外科 小児科/高度生殖医療センター	脳神経外科/脳神経内科 呼吸器外科/乳腺センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科 形成外科/放射線科
1階	総合サポートセンター/臨床研究開発センター 放射線治療/リハビリテーション部/ローソン	臓器移植センター 栄養診療部/ドトール	各種受付/リボンスハウス ATMコーナー

附属病院の業務状況 Patient Service of University Hospital

[病床数及び患者数]

(令和2年度実績)

診療科	病床数	診療状況			
		入院		外来	
		患者延数 (人)	1日平均患者数 (人)	患者延数 (人)	1日平均患者数 (人)
血液内科	0	7,224	19.8	7,711	31.7
腫瘍内科	0	5,491	15.0	6,219	25.6
皮膚科	0	5,965	16.3	15,370	63.3
眼科	0	5,313	14.6	28,347	116.7
心臓血管外科(小児循環器)	0	4,466	12.2	2,981	12.3
呼吸器外科	0	2,095	5.7	2,521	10.4
呼吸器内科	0	7,455	20.4	10,672	43.9
糖尿病・内分泌内科	0	1,373	3.8	14,482	59.6
循環器内科	0	9,315	25.5	16,383	67.4
腎臓内科	0	2,277	6.2	6,959	28.6
総合内科・総合診療科	0	893	2.4	1,767	7.3
肝胆膵・移植外科	0	10,425	28.6	7,119	29.3
消化管外科	0	8,124	22.3	9,943	40.9
小児外科	0	1,794	4.9	2,183	9.0
消化器・肝臓内科	0	10,404	28.5	20,191	83.1
脳神経外科	0	8,795	24.1	8,417	34.6
脳神経内科	0	5,439	14.9	9,935	40.9
整形外科	0	14,762	40.4	16,283	67.0
形成外科	0	1,488	4.1	3,540	14.6
放射線科	0	2,989	8.2	16,010	65.9
産科婦人科	0	12,033	33.0	14,806	60.9
乳腺外科	0	2,548	7.0	12,910	53.1
小児科(小児循環器)	0	8,924	24.4	7,194	29.6
腎泌尿器外科	0	9,340	25.6	16,908	69.6
歯科口腔外科	0	2,348	6.4	19,767	81.3
精神科神経科	30	4,841	13.3	17,265	71.0
耳鼻咽喉・頭頸部外科	0	9,081	24.9	12,904	53.1
麻酔科	0	0	0.0	6,904	28.4
総合集中治療センター(救急科)	0	4,322	11.8	680	2.8
周産母子センター	0	14,993	41.1	0	0.0
リウマチ膠原病センター	0	480	1.3	5,335	22.0
緩和ケア科	0	0	0.0	12	0.0
感染症内科	0	0	0.0	463	1.9
高度生殖医療センター	0	0	0.0	7,229	29.7
ゲノム診療科	0	0	0.0	545	2.2
リハビリテーション科	0	0	0.0	97	0.4
共通病床	655				
合計	685	184,997	506.7	330,052	1,358.1

※総合集中治療センター(救急科)患者延数は救急科患者数のみを計上

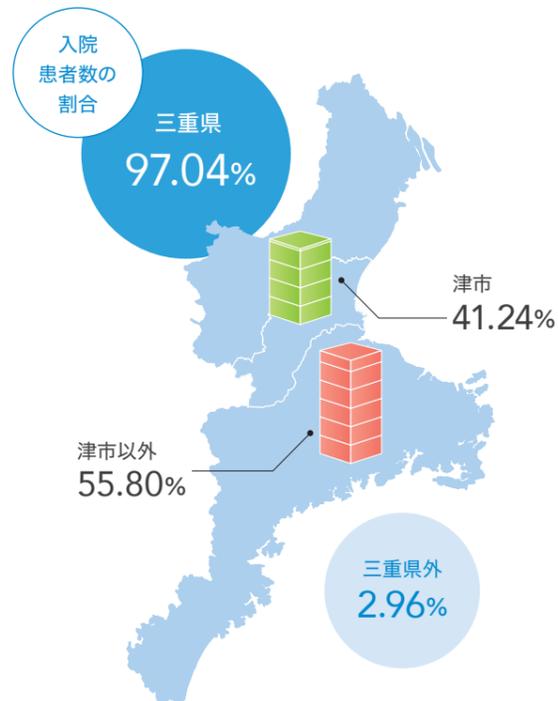
※外来の患者延数および一日平均患者数は、外来日数243日で計上 ※肝胆膵・移植外科に一般外科患者数を含む

※平成30年度より一般病棟は共通病床化したため診療科固有の病床は保有しない

地域別患者数

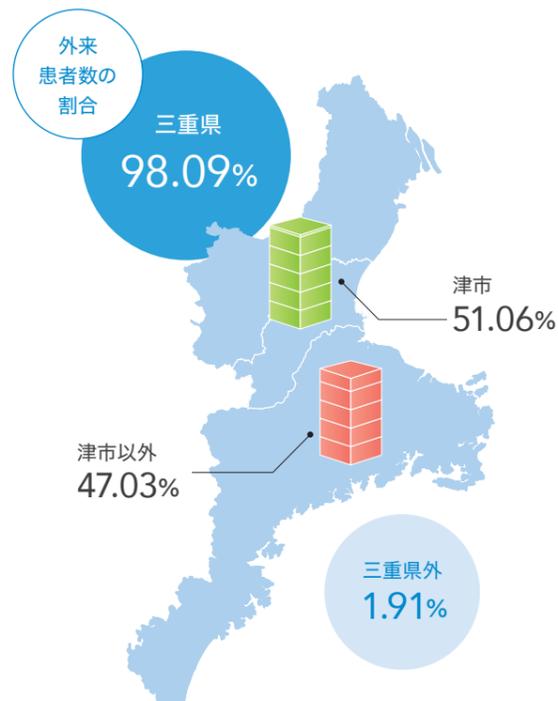
[入院患者数] (令和2年度実績)

区分	入院延数(人) ※割合で調整後	%
三重県	179,537	97.04%
津市	76,298	41.24%
津市以外	103,239	55.80%
愛知県	1,696	0.92%
岐阜県	624	0.34%
静岡県	77	0.04%
北海道	8	0.00%
東北	0	0.00%
関東	473	0.26%
北陸・甲信越	214	0.12%
近畿	2,057	1.11%
中国・四国	92	0.05%
九州	170	0.09%
その他(沖縄)	0	0.00%
不明	49	0.03%
合計	184,997	100.00%



[外来患者数] (令和2年度実績)

区分	外来延数(人) ※割合で調整後	%
三重県	329,304	98.09%
津市	171,431	51.06%
津市以外	157,873	47.03%
愛知県	2,195	0.65%
岐阜県	690	0.21%
静岡県	69	0.02%
北海道	1	0.00%
東北	11	0.00%
関東	457	0.14%
北陸・甲信越	96	0.03%
近畿	2,677	0.80%
中国・四国	148	0.04%
九州	52	0.02%
その他(沖縄)	11	0.00%
不明	1	0.00%
合計	335,712	100.00%



医療行為統計 Clinical Activities

[手術及び麻酔件数]

(令和2年度実績)

診療科	手術件数								麻酔件数		
	0~999点	1,000~2,999点	3,000~4,999点	5,000~9,999点	10,000~14,999点	15,000~19,999点	20,000点以上	計	0~999点	1,000点以上	計
脳神経内科	30	0	0	0	0	0	0	30	224	0	224
整形外科	11	31	23	69	106	135	535	910	562	1,242	1,804
産科婦人科	7	169	117	13	16	85	800	1,207	1,749	1,344	3,093
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
眼科	110	187	66	85	925	221	462	2,056	170	120	290
腎泌尿器外科	8	53	283	51	220	29	254	898	747	599	1,346
小児科	0	79	1	1	0	9	35	125	486	121	607
耳鼻咽喉・頭頸部外科	62	171	88	34	29	19	275	678	104	384	488
皮膚科	17	131	108	23	229	6	17	531	31	69	100
精神科神経科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
歯科口腔外科	179	222	15	4	18	6	36	480	47	215	262
麻酔科	0	0	0	0	1	0	0	1	1,210	34	1,244
脳神経外科	8	18	26	1	106	9	326	494	135	515	650
総合内科・総合診療科	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0
循環器内科	2	5	194	76	45	57	666	1,045	264	57	321
消化器・肝臓内科	0	1	91	469	437	152	191	1,341	1	0	1
呼吸器内科	0	0	0	1	8	5	0	14	0	0	0
腎臓内科	0	0	0	0	8	0	0	8	1	0	1
血液内科	2	5	0	0	1	18	0	26	1	6	7
腫瘍内科	1	33	3	0	4	83	0	124	0	0	0
緩和ケア科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
消化管外科	12	10	17	121	49	81	248	538	738	579	1,317
肝胆膵・移植外科	7	8	4	69	28	65	253	434	318	412	730
乳腺外科	1	15	23	214	8	26	261	548	85	326	411
小児外科	2	13	17	63	23	14	43	175	139	289	428
形成外科	14	98	64	52	20	22	101	371	34	156	190
心臓血管外科	4	7	57	7	10	10	331	426	34	655	689
呼吸器外科	4	0	52	3	3	8	191	261	240	324	564
放射線科	5	13	1	1	57	158	128	363	98	29	127
救急科	49	54	232	4	31	29	34	433	32	98	130
高度生殖医療センター	1	6	60	0	0	0	0	67	0	0	0
総計	536	1,329	1,544	1,361	2,382	1,247	5,187	13,586	7,456	7,574	15,030

[分娩数]

(令和2年度実績)

	成熟児	未熟児	計
正常分娩	196	45	241
異常分娩	232	26	258
計	428	71	499

[臨床検査件数(中央検査部・輸血部・細胞治療部・病理部)]

(令和2年度実績)

区分	入院(件)	外来(件)	計(件)
一般検査	32,550	118,435	150,985
血液学的検査	230,059	301,245	531,304
生化学的検査	1,089,541	1,960,144	3,049,685
免疫学的検査	73,390	144,292	217,682
微生物学的検査	33,946	15,828	49,774
病理学的検査	10,505	12,030	22,535
その他の検体検査	12,589	15,190	27,779
生理機能検査	10,558	30,757	41,315
採血・採液等	69,345	77,556	146,901
計	1,562,483	2,675,477	4,237,960

[X線撮影、透視、CT及びMRI検査人数]

(令和2年度実績)

区分	入院(件)	外来(件)	計(件)	
一般撮影(単純)	26,931	32,813	59,744	
一般撮影(造影)	1,019	587	1,606	
X線CT検査	8,428	19,177	27,605	
MRI検査	2,474	9,359	11,833	
PET-CT	225	872	1,097	
放射線治療	体外照射	8,629	8,692	17,321
	腔内照射	171	13	184
計	47,877	71,513	119,390	

[処方枚数、件数及び薬剤数]

(令和2年度実績)

区分	枚数(枚)	件数(件)	薬剤数(剤)	
入院	127,577	245,177	1,507,181	
外来	院内	3,667	10,282	121,056
	院外	161,334		
計	292,578	255,459	1,628,237	

医療機関等の指定状況等 Services related Medical Care Legislations and Dates of Approval

医療機関の承認等 (令和3年5月1日現在)

昭和48.10.1	医療法による病院開設認可	昭和63.3.29	臨床修練指定病院(外国医師・外国歯科医師)
〃	総合病院の名称使用承認	6.1	健康保険法による特定承認保険医療機関
〃	健康保険法による保険医療機関	〃	国民健康保険法による特定承認保険医療機関
〃	国民健康保険法による保険医療機関	平成6.11.1	特定機能病院の名称承認
昭和57.4.27	消防法による救急医療機関承認		

医療機関の承認等 (令和3年5月1日現在)

昭和48.10.1	生活保護法による医療		
〃	結核予防法による医療		
〃	労働者災害補償保険法による医療		
〃	老人福祉法による医療		
〃	母子保健法による医療(養育医療、三歳児精密検診)		
〃	児童福祉法による医療(育成医療)		
〃	精神保健法による医療		
〃	身体障害者福祉法による医療(更正医療)		
〃	戦傷病者特別援護法による医療(更正医療)		
〃	特定疾患治療研究事業(スモン、ベーチェット病、重症筋無力症、全身性エリテマトーデス、多発性硬化症、再生不良性貧血)		
昭和48.12.7	船員法による医療		
昭和49.2.5	原爆医療法による医療		
4.1	小児慢性特定疾患治療研究事業(悪性新生物、慢性腎疾患、ぜんそく、先天性代謝異常、血友病等血痕疾患)		
9.1	公害健康被害補償法による医療		
10.1	特定疾患治療研究事業(サルコイドーシス、筋萎縮性側索硬化症、強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎、特発性血小板減少性紫斑病)		
〃	小児慢性特定疾患治療研究事業(慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病)		
昭和50.8.1	地方公務員災害補償法による医療		
〃	国家公務員災害補償法による医療		
10.1	特定疾患治療研究事業(結節性動脈周囲炎、潰瘍性大腸炎、大動脈炎症候群、ビュルガー病、天痘瘡)		
昭和51.10.1	特定疾患治療研究事業(脊髄小脳変性症、クローン病、難治性肝炎のうち劇症肝炎)		
昭和52.10.1	特定疾患治療研究事業(悪性関節リウマチ)		
昭和53.10.1	特定疾患治療研究事業(パーキンソン病)		
昭和54.10.1	特定疾患治療研究事業(アミロイドーシス)		
昭和55.4.1	母子保健法による医療(妊娠・乳児一般健診)		
12.1	特定疾患治療研究事業(後縦靭帯骨化症)		
昭和56.10.1	特定疾患治療研究事業(ハンチントン病)		
昭和57.10.1	特定疾患治療研究事業(モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症))		
昭和59.1.1	特定疾患治療研究事業(ウェゲナー肉芽腫症)		
昭和60.1.1	特定疾患治療研究事業(特発性拡張型(うっ血型)心筋症)		
11.7	労働者災害補償保険法による医療(アフターケア)		

医学部附属病院について

医療機関の承認等 (令和3年5月1日現在)

昭和61.	1. 1	特定疾患治療研究事業(シャイ・ドレーガ症候群)
昭和62.	1. 1	特定疾患治療研究事業(表皮水痘症(接合部型及び栄養障害型))
昭和63.	1. 1	特定疾患治療研究事業(膿毒性乾癬)
昭和64.	1. 1	特定疾患治療研究事業(広範脊柱管狭窄症)
平成 元.	10. 1	先天性血液凝固因子障害治療研究事業
平成 2.	1. 1	特定疾患治療研究事業(原発性胆汁性肝硬変)
	4. 1	小児慢性特定疾患治療研究事業(神経筋疾患)
平成 3.	1. 1	特定疾患治療研究事業(重症急性膵炎)
平成 4.	1. 1	特定疾患治療研究事業(特発性大腿骨頭壊死症)
平成 5.	1. 1	特定疾患治療研究事業(混合性結合組織病)
平成 6.	1. 1	特定疾患治療研究事業(原発性免疫不全症候群)
平成 7.	1. 1	特定疾患治療研究事業(特発性間質性肺炎)
平成 8.	1. 1	特定疾患治療研究事業(網膜色素変性症)
	2.21	エイズ治療拠点病院
平成 9.	1. 1	特定疾患治療研究事業(プリオン病)
	1. 6	地域災害拠点病院の指定
平成10.	1. 1	特定疾患治療研究事業(原発性肺高血圧症)
	4. 1	身体障害者福祉法による医療(更生医療)(ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害)
	5. 1	特定疾患治療研究事業(神経線維腫症Ⅰ型/神経線維腫症Ⅱ型)
	12. 1	特定疾患治療研究事業(亜急性硬化性全脳炎)
	//	特定疾患治療研究事業(バット・キアリ(Budd-Chiari)症候群)
	//	特定疾患治療研究事業(特発性慢性肺血栓性肺高血圧型)
平成11.	4. 1	特定疾患治療研究事業(ライソゾーム病)
平成12.	4. 1	特定疾患治療研究事業(副腎白質ジストロフィー)
	10. 1	身体障害者福祉法による医療(更正医療)(小腸に関する医療)
平成19.	1.31	がん診療連携拠点病院の指定
平成20.	12.15	肝疾患診療連携拠点病院の指定
平成25.	2. 8	小児がん拠点病院の指定
平成30.	3.30	三重県アレルギー疾患医療拠点病院
令和 元.	9.19	がんゲノム医療拠点病院
令和 2.	2.26	特定行為研修指定研修機関の指定

基本診療の施設基準 (令和3年5月1日現在)

- 地域歯科診療支援病院歯科初診料
- 歯科外来診療環境体制加算
- 歯科診療特別対応連携加算
- 特定機能病院入院基本料
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 超急性期脳卒中加算
- 妊産婦緊急搬送入院加算
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算1
- 急性期看護補助体制加算
- 看護職員夜間配置加算
- 看護補助加算1
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 無菌治療室管理加算1・2
- 緩和ケア診療加算
- 精神科身体合併症管理加算
- 摂食障害入院医療管理加算
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算1
- 感染防止地域連携加算
- 抗菌薬適正使用支援加算
- 患者サポート体制充実加算
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ハイリスク妊婦管理加算
- ハイリスク分娩管理加算
- 呼吸ケアチーム加算
- 病棟薬剤業務実施加算1・2
- データ提出加算2
- 入退院支援加算1・3
- 地域連携診療計画加算

基本診療の施設基準 (令和3年5月1日現在)

- 入院時支援加算
- 総合機能評価加算
- せん妄ハイリスク患者ケア加算
- 精神疾患診療体制加算1・2
- 地域医療体制確保加算
- 救命救急入院料4
- 特定集中治療室管理料1
- ハイケアユニット入院医療管理料2
- 新生児特定集中治療室管理料1
- 総合周産期特定集中治療室管理料
- 小児入院医療管理料2

特掲診療料の施設基準 (令和3年5月1日現在)

- 外来栄養食事指導料
- 心臓ペースメーカー指導管理料(遠隔モニタリング加算)
- 高度難聴指導管理料
- 糖尿病合併症管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ
- 外来緩和ケア管理料
- 移植後患者指導管理料(臓器移植後・造血細胞移植後)
- 糖尿病透析予防指導管理料
- 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- 婦人科特定疾患治療管理料
- 腎代替療法指導管理料
- 外来放射線照射診療料
- 開放型病院共同指導料
- ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅱ)
- がん治療連携計画策定料
- 認知症専門診断管理料
- 肝炎インターフェロン治療計画料
- ハイリスク妊婦連携指導料1・2
- 薬剤管理指導料
- 地域連携診療計画加算
- 診療情報提供料(Ⅰ) 検査・画像情報提供加算
- 診療情報提供料(Ⅰ) 電子的診療情報提供料
- 医療機器安全管理料1・2
- 歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
- 在宅血液透析指導管理料
- 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
- 持続血糖測定器加算
- 遺伝学的検査
- 骨髄微小残存病変量測定
- BRCA1/2遺伝子検査
- がんゲノムプロファイリング検査
- 先天性代謝異常症検査
- 抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
- HPV核酸検出
- HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
- ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
- 遺伝性腫瘍カウンセリング加算
- 検体検査管理加算(Ⅰ)(Ⅳ)
- 国際標準検査管理加算
- 遺伝カウンセリング加算
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- 時間内歩行試験
- シャトルウォーキングテスト
- 胎児心エコー法
- ヘッドアップティルト試験
- 皮下連続式グルコース測定
- 長期継続頭蓋内脳波検査
- 脳波検査判断料1
- 神経学的検査
- 補聴器適合検査
- 黄斑局所網膜電図
- 全視野精密網膜電図
- ロービジョン検査判断料
- コンタクトレンズ検査料1
- 内服・点滴誘発試験
- センチネルリンパ節生検
- CT透視下気管支鏡検査加算
- 画像診断管理加算1, 2, 3
- ポジトロン断層撮影
- ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
- CT撮影及びMRI撮影
- 冠動脈CT撮影加算
- 血流予備量比コンピューター断層撮影
- 外傷全身CT加算
- 心臓MRI撮影加算
- 乳房MRI撮影加算
- 頭部MRI撮影加算
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算1
- 連携充実加算
- 無菌製剤処理料
- 心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
- 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)

特掲診療料の施設基準 (令和3年5月1日現在)

- 摂食嚥下支援加算
- がん患者リハビリテーション料
- 歯科口腔リハビリテーション2
- 認知療法・認知行動療法
- 精神科ショート・ケア及びデイ・ケア(小規模なもの)
- 抗精神病特定薬剤治療指導管理料
- 医療保護入院等診療料
- 手術用顕微鏡加算
- 硬膜外自家血注入
- エタノールの局所注入(甲状腺・副甲状腺)
- 人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)
- 人工腎臓の導入期加算2(腎代替療法実績加算)
- 透析液水質確保加算2
- 手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術
- う蝕歯無痛の高洞形成加算
- 歯科技工加算
- 皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算)
- 皮膚移植術(死体)
- 組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る)【一次再建・二次再建】
- 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
- 骨移植術(軟骨移植術を含む)(同種移植術(非生体)(同種骨移植術(特殊なものに限る)))
- 骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る)
- 後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
- 椎間板内酵素注入療法
- 腫瘍脊椎骨全摘出術
- 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術
- 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- 仙骨神経刺激装置植込術・交換術(便失禁)
- 角膜移植術(内皮移植加算)
- 羊膜移植術
- 緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
- 緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
- 網膜再建術
- 人工内耳植込術、植込骨導補聴器移植術及び植込型骨導補助器交換術
- 内視鏡下鼻・副鼻腔手術V(拡大副鼻腔手術)
- 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む)
- 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
- 上顎・下顎骨形成術(歯科診療に係るものに限る)
- 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(MRIによるもの)

- 乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪切除術(腋窩郭清を伴うもの))
- ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術
- 乳がんセンチネルリンパ節加算1,2
- 胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(内視鏡支援機器を用いる場合)(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)
- 肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)
- 食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
- 胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
- 胸腔鏡下弁形成術
- 経カテーテル大動脈弁置換術
- 胸腔鏡下弁置換術
- 経皮的中隔心筋焼灼術
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ペースメーカー移植術(リードレスペースメーカー)
- 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
- 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
- 植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
- 植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
- 両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
- 両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
- 大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
- 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
- 補助人工心臓
- 腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
- 腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 腹腔鏡下噴門側胃術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

特掲診療料の施設基準 (令和3年5月1日現在)

- 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)
- 胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)
- 腹腔鏡下肝切除術
- 腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)
- 生体部分肝移植術
- 同種死体肝移植術
- 腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
- 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
- 腹腔鏡下膵頭部切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く)
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
- 腹腔鏡下腎悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
- 腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 同種死体腎移植術
- 生体腎移植術
- 膀胱水圧拡張術
- 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
- 人工尿道括約筋植込・置換術
- 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器加算を用いるもの)
- 腹腔鏡下仙骨固定術
- 腹腔鏡下仙骨固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 腹腔鏡下膣式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術

- 胎児胸腔・羊水腔シャント術
- 輸血管理料(1)
- 貯血式自己血輸血管理体制加算
- 自己生体組織接着剤作成術
- 同種クリオプレシピテート作製術
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時嚥下評価機能加算
- 歯周組織再生誘導手術
- 手術時歯根面レーザー応用加算
- 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
- 麻酔管理料I
- 放射線治療専任加算
- 外来放射線治療加算
- 高エネルギー放射線治療
- 強度変調放射線治療(IMRT)
- 1回線量増加加算(全乳房照射)
- 画像誘導放射線治療加算(IGRT)
- 体外照射呼吸性移動対策加算
- 1回線量増加加算(前立腺照射)
- 定位放射線治療
- 定位放射線治療呼吸移動対策加算
- 画像誘導密封小線源治療加算
- 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
- 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
- デジタル病理画像による病理診断
- 病理診断管理加算2
- 悪性腫瘍病理組織標本加算
- クラウン・ブリッジ維持管理料
- CAD/CAM冠

先進医療A(第2項先進医療技術) (令和3年5月1日現在)

平成25.3. 1 | 末梢血単核球移植による血管再生治療

先進医療B(第3項先進医療技術) (令和3年5月1日現在)

平成25. 1. 1 | パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん

平成27. 7. 1 | インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法

平成28.11. 1 | 腹腔鏡下センチネルリンパ節生検早期胃がん

平成31. 1. 1 | 水素ガス吸入療法

(令和3年5月1日現在)

大学院医学系研究科・医学部

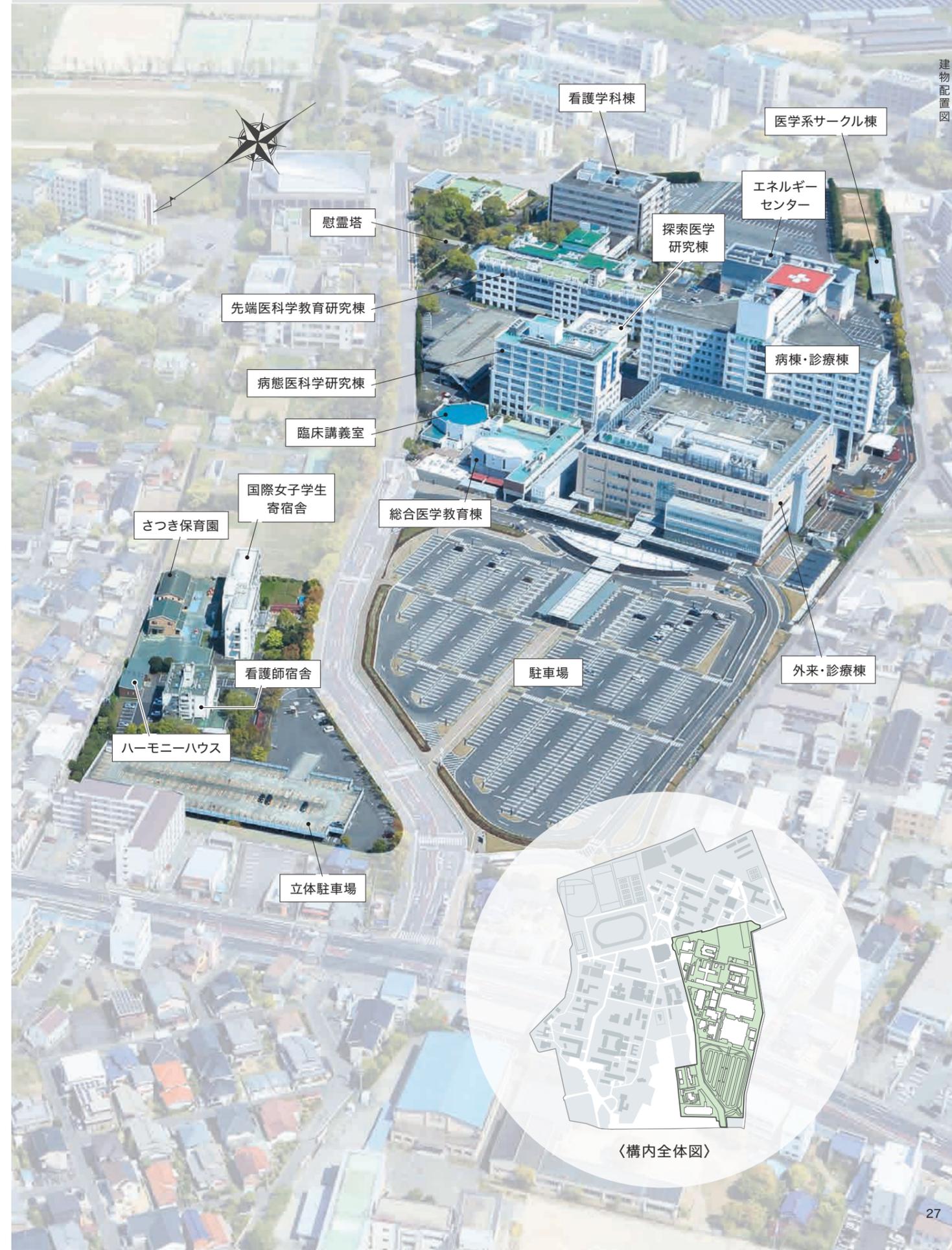
敷地面積/51,143㎡ 建物面積/33,354㎡

名称	構造	面積 (㎡)	建築年月日
先端医科学教育研究棟(基礎医学校舎)	RC-5	9,139	昭和45.12.15
多用途棟	S-1	288	昭和45.12.15
ボイラー棟	S-1	150	昭和45.12.15
医学系サークル棟	S-1	389	昭和46. 3.31
総合医学教育棟	RC-2	2,130	昭和48. 4.30
探索医学研究棟	RC-3	3,229	昭和49. 8.31
臓器乾燥室	B-1	41	昭和50. 2.28
病態医科学研究棟	SRC-9	9,804	昭和50.12.25
臨床講義室	R-2	621	昭和55. 3.31
看護学科棟	SRC-6	7,056	平成12.11.16
医療技術棟	S-1	156	平成15
渡り廊下	—	186	—
その他	—	138	—
計		33,327	

医学部附属病院

敷地面積/68,593㎡ 建物面積/82,179㎡

名称	構造	面積 (㎡)	建築年月日
看護師宿舎	RC-4	1,323	昭和50. 7.26
さつき保育園	W-2	585	平成22
エネルギーセンター	R-3	2,480	平成22.12.28
病棟・診療棟	SRC-12	40,650	平成23. 6.30
外来・診療棟	RC-5	28,361	平成26.12
ハーモニーハウス	W-1	113	平成26
管理施設	—	1,296	—
立体駐車場(2箇所)	—	7,062	—
駐車整理券事務所	S-1	87	平成29. 7.31
その他	—	76	—
計		82,033	



建物配置図

三重大学大学院 医学系研究科・医学部

<https://www.medic.mie-u.ac.jp>



三重大学医学部 看護学科

<https://www.medic.mie-u.ac.jp/nur/>



三重大学医学部附属病院

<https://www.hosp.mie-u.ac.jp>



所在地・連絡先 〒514-8507 三重県津市江戸橋二丁目174番地 TEL 059-232-1111

[周辺案内図・交通のご案内]



■ 近鉄電車「急行」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約60分	江戸橋駅	徒歩 約15分
京都・大阪より	伊勢中川駅	約15分	江戸橋駅	

■ 近鉄電車「特急」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約50分	津駅	バス・ タクシー 約15分
大阪より	大阪難波駅	約90分		
京都より	京都駅	約110分		

■ JR「快速みえ」で

名古屋より	JR名古屋駅	約50分
-------	--------	------

■ 近鉄・JR「津駅」から

- 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「大学病院」(93系統)、「白塚駅」(06系統)行きの一部で、「大学病院」下車
- 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「椋本(むくもと)」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「大学病院前」下車
- 津駅からタクシーで約10分。

■ 近鉄「江戸橋駅」から

徒歩で約15分(江戸橋駅にはタクシー乗り場はありません)。

■ 中部国際空港(セントレア)から

- 津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ40分
- 「津なぎさまち」から三重交通バスで「津駅前」まで約15分
 - 「津なぎさまち」からタクシーで三重大学まで約15分

PHOTO GALLERY 2021

三重大学病院 フォトギャラリー



夜の病院外観



エントランス



スタッフステーション



感染症危機管理センター



小児外来



待合



病棟



磁気共鳴診断装置



放射線治療室



ハイブリッド手術室



ドクターヘリ



手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」

国立大学法人 三重大学
大学院医学系研究科・医学部 医学部附属病院
概要(令和3年度/2021)

発行日/2021年10月
発行者/国立大学法人 三重大学
大学院医学系研究科・医学部 医学部附属病院
〒514-8507 三重県津市江戸橋二丁目174番地

O U T L I N E 2 0 2 1



三重大学シンボルマーク



三重大学病院シンボルマーク



三重大学病院キャラクター
ミーベとミッピ